

# 長谷川あり通信

2014年新春号



長谷川あり後援会発行

寒さ厳しい毎日、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

※公職選挙法の関係上、市内の皆様には年賀状での挨拶は控えさせていただいております。ご了承ください。

市議会に送りだしていただき、2014年は、4年目を迎えます。

市民の税金がどのように使われるのかチェック・監視することの大切さ、市民の目線、女性の目線、若手の目線、教育現場の目線、福祉の現場の目線で、モノを言うことの重要さを日々痛感している毎日です。

**超少子高齢社会の中で、地域社会の機能維持、持続可能な地域社会をどう形成するのか？**

当たり前の幸せを、かみしめられるそんな小千谷でありたい。

市内の現場を廻ることで、病院統合問題など、地域や住民の皆様の課題や要望を市へと訴えたり、橋渡しをしたりさせていただきました。モノを言わなければ、その思い・その意見は「ないもの、なかったもの」になる政治・行政の現場。耳を澄ませて皆様の声を確実に届かなければ！

知恵を集めて、この小千谷で、少子高齢社会を生きるみんなの幸せに繋げていきたい。

皆様の声を、市へ、議会へ、届けるべく奮闘しておりますが、もっともっと、頑張らねばと新年を迎え、決意を新たにしております。

今後も、市や議会・議員活動に関する情報を少しでも多くの皆様にお届けし、また多くの皆様と交流できますよう、力を尽くします。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 働き‘あり’! 東奔西走あれこれ

